



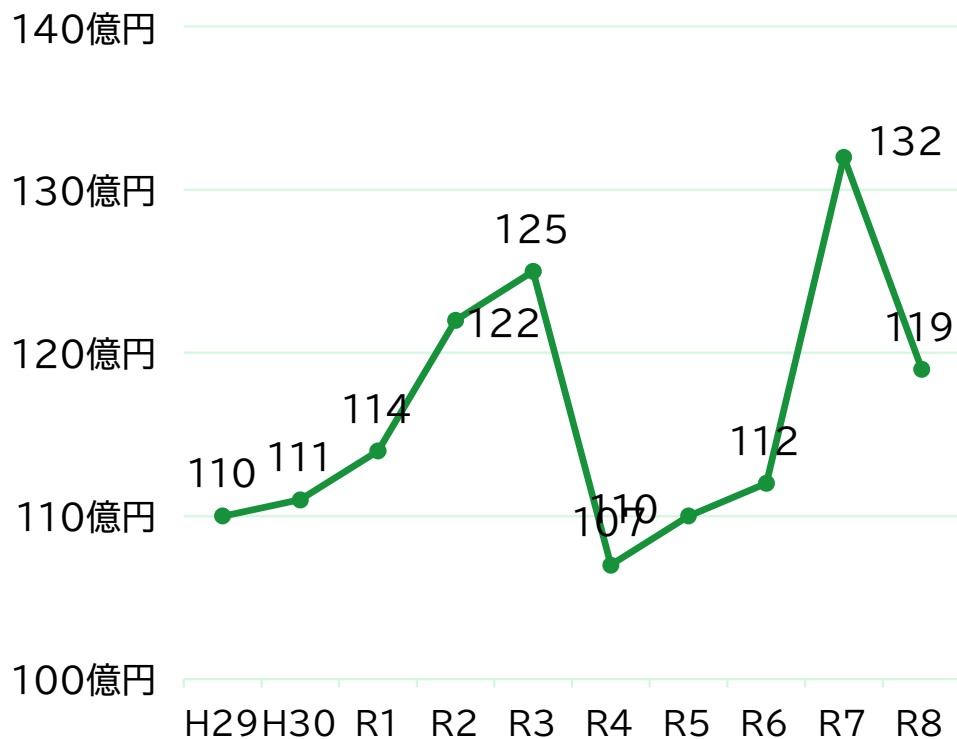
京丹波町 令和8年度 当初予算の概要

京丹波町総務部財政課

一般会計

119億2,000万円

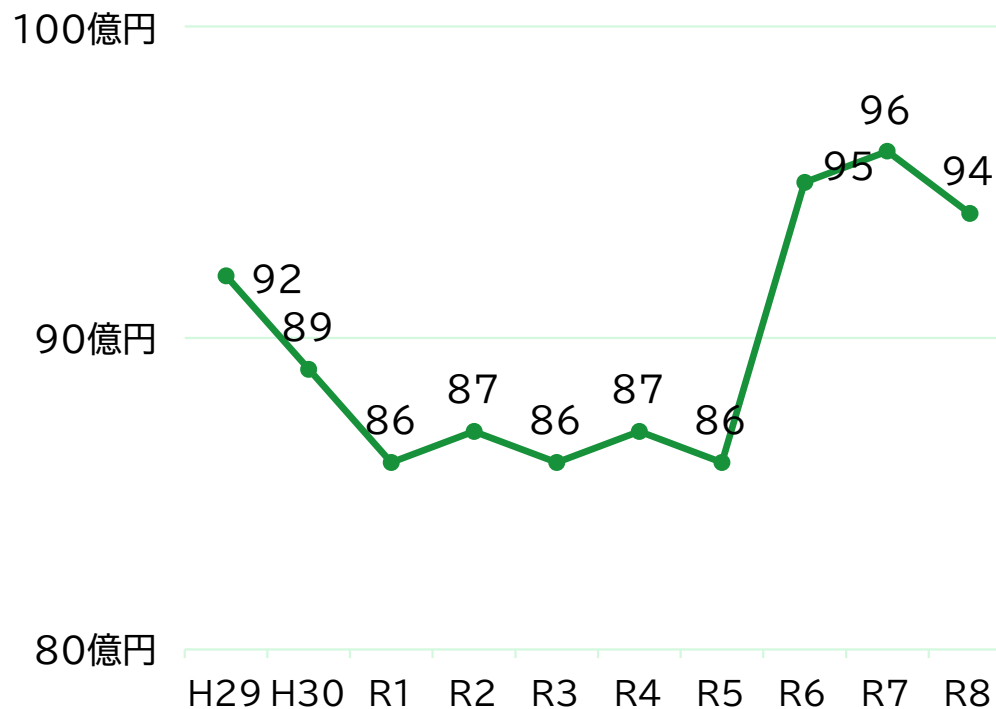
(前年度比 Δ 13億円 Δ 9.8%)



特別会計・公営企業会計

93億9,520万1千円

(前年度比 Δ 2億4,049万8千円 Δ 2.5%)



令和8年度当初予算編成方針

「みんなで元気・希望・笑顔のあふれる 京丹波町に」の推進



健やかで幸せなまちづくり



教育と子育てのまちづくり



人のふれあいを感じるまちづくり



わかりやすい情報発信による
行政の見える化のまちづくり

令和8年度10の成長プロジェクト

京丹波町では、10の成長プロジェクトを重点的に進めます。



食で稼ぐ京丹波プロジェクト



食の担い手プロジェクト



京丹波の未来をデザインする
「探求学習」プロジェクト



須知高校魅力化プロジェクト



大学生と創るまちプロジェクト



創業環境ナンバーワン
プロジェクト



移動支援プロジェクト



CLUB京丹波関わり深化
プロジェクト



京丹波編集部プロジェクト



情報お届けデジタル回覧板
プロジェクト

①食で稼ぐ京丹波プロジェクト

【概要】

京丹波町が誇る農畜産物や豊かな食資源の価値をさらに高め、加工や販売、観光との連携を進めることで、地域全体でしっかりと収益を生み出す仕組みをつくります。

ふるさと納税制度の活用や、生産から流通、販売までを見据えた取組を進め、食を基軸とした持続可能な産業の確立を目指します。



②食の担い手プロジェクト

【概要】

農業や食品加工業、販売など食に関わる仕事に関心を持つ人が新たに挑戦しやすい環境を整え、次代の京丹波を支える生産者や事業者を育てます。学びや実践の機会づくり、関係人口との連携を通じて、地域の食を支える人材の裾野を広げていきます。



③京丹波の未来をデザインする 「探求学習」プロジェクト

【概要】

京丹波町全体を学びのフィールドにして、地域の方、地元の企業や団体、大学、さらに京丹波町役場と結んだ課題解決型の学びをすすめます。

こうした学びを通じて、自分の未来と京丹波の未来をデザインし、町の次代を担う人材の育成をすすめます。



④須知高校魅力化プロジェクト

【概要】

地域資源を活かした学びや、企業・大学との連携による実践的な教育の機会を充実させ、須知高校の魅力を高めます。生徒が地域と関わりながら学ぶ環境を整えることで、選ばれる高校づくりと地域の将来を担う人材の育成につなげます。



⑤大学生と創るまちプロジェクト

大学生が地域に入り、調査やフィールドワーク、企画提案などを通じて地域課題の解決や新たな価値づくりに関わる機会を広げます。

学生の柔軟な発想と地域の実情を掛け合わせることで、町に新しい視点や挑戦を生み出していきます。



⑦移動支援プロジェクト

デマンド交通をはじめとした多様な移動手段の充実を図り、誰もが通院や買い物、通学などの日常生活を安心して送れる環境を整えます。

移動の不安を減らすことで、暮らしやすさの向上と地域の活力の維持につなげます。



⑥創業環境ナンバーワンプロジェクト

創業相談や伴走支援、関係機関との連携を強化し、町内外から挑戦する人が集まりやすい環境を整えます。小さな挑戦が次の仕事を生み、地域に新しい産業や雇用が生まれる好循環をつくることを目指します。



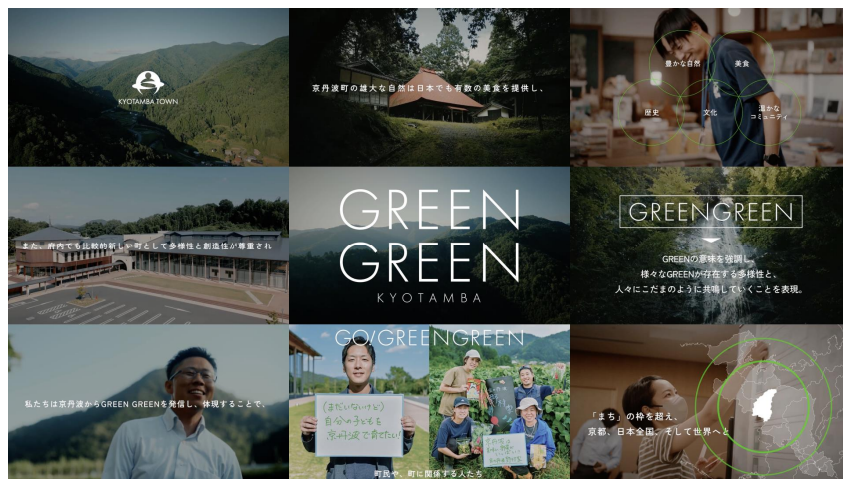
⑧CLUB京丹波関わり深化プロジェクト

ファンクラブを通じて町と関わる人を増やし、来訪や交流、応援につながる関係人口の輪を広げます。イベントや情報発信、体験の機会を充実させることで、京丹波を応援し続けてくれる仲間を増やしていきます。



⑨京丹波編集部プロジェクト

町で暮らす人や挑戦する人、地域の風景や文化を丁寧に発信し、京丹波の魅力を外に伝えていきます。さまざまな主体が発信に関わる仕組みをつくり、共感をきっかけに新たな来訪や関わりが生まれる流れをつくりまします。



⑩情報お届けデジタル回覧板プロジェクト

デジタル技術を活用して行政や地域の情報を分かりやすく届け、誰もが必要な情報にすぐアクセスできる環境を整えます。自主放送番組を通じて町のあらゆる情報が届く仕組みを目指します。



令和8年度主要事業について

【目次】

健やかで幸せなまちづくり…P9

教育と子育てのまちづくり…P16

人のふれあいを感じるまちづくり…P28

わかりやすい情報発信による
行政の見える化のまちづくり…P42

健やかで幸せなまちづくり

「人生100年。健幸のまちづくり～生涯を通じて「こころ」と「からだ」を健幸に～」を基本方針として、町民の皆様が生きがいと誇りを持ち、生涯を通じて健やかで幸せに暮らすことができる「健幸」のまちづくりを推進します。

フードバレー推進事業

予算額 19,156千円
(前年度予算額 14,898千円)

フードバレー農場による人材育成

16,212千円

本町の食と農の分野で活躍できる人財を地域おこし協力隊として採用し、専門人材の指導による技術・ノウハウの習得を支援します。

【目標】

地域おこし協力隊の任期(3年間)終了後に、新規就農等による定着を実現。



町特産物を原材料とした新商品開発への支援・付加価値の向上

2,944千円

フードバレー京丹波推進協議会に加盟する事業者が2社以上で連携し、新商品等を開発するために必要となる経費の一部を補助します。

【補助内容】

●フードバレー推進事業費補助金(2,000千円)

<補助率> 1/2(上限500千円)



また、大学等との連携により、町内の特産物の付加価値の向上を目指します。

丹波くり振興事業

予算額 21,560千円
(前年度予算額 21,313千円)

丹波くり振興事業補助金

17,579千円

丹波くりの生産に関する様々な取組を支援します。

【主な補助制度】

●丹波くり病害虫対策支援事業補助金(500千円)

病害虫対策のために行う防蛾灯の設置に要する経費を補助

<補助率> 1/2(上限100万円)

●丹波くり苗木支援事業(600千円)

栗苗木を購入する経費を補助 <補助率> 1/2

●丹波くり新植・改植事業(8,000千円)

栗園新植、改植に係る経費を補助 <補助率> 1/2(上限100万円)

<実施項目> ①苗木の購入 ②植栽の委託 ③整地、土壌改良 ④有害鳥獣防護柵の設置 ⑤排水対策

●丹波くり凍害対策支援事業(479千円)

凍害対策に係る資材、委託料、リース料の経費を補助 <補助率> 1/3

●丹波くり栽培機材等支援事業(8,000千円)

丹波くり栽培に係る機材導入経費を補助 <補助率> 1/2(上限300万円)

<対象機械> 高湿恒温庫、鬼皮むき機、電動剪定鋏、草刈機 等



京丹波栗リファイン事業

予算額 8,271千円
(前年度予算額 10,798千円)

京丹波栗のブランディングプロモーション経費

4,608千円

京丹波の栗をリブランディングすることで、生産量を増やし町の価値として発信します。

【取組内容】

- ・ラグジュアリーホテルや高級レストランと連携した、京丹波栗のブランディングプロモーションを実施します。
- ・食の祭典「京丹波マルシェ2026」でモンブランブースの企画運営を実施します。
- ・ブランディングアドバイザーの知見を活かすため業務委託を実施します。
- ・栗産業全体の理解や裾野を広げるため、提携ホテルと須知高校食品科学科とのコラボによるモンブラン作りを実施し、全国モンブラン大会へ出展します。



予防接種事業

予算額 40,963千円
(前年度予算額 47,030千円)

新

RSウィルスワクチン(妊婦)の定期接種開始

600千円

妊婦への能動免疫による新生児・乳児の感染症の予防として、RSウィルスワクチン(妊婦)の定期接種開始します。

- 対象者:京丹波町に住民登録がある妊娠28週～37週に至るまでの妊婦
- 接種開始:令和8年4月1日
- 接種費用:無料(A類疾病のため)
- 接種回数:一人1回

その他、各種ワクチン定期接種を継続事業として実施します。

- ・子宮頸がん予防ワクチン定期接種
- ・高齢者肺炎球菌ワクチン定期接種
- ・带状疱疹ワクチン定期接種
- ・高齢インフルエンザワクチン定期接種
- ・新型コロナワクチン定期接種 他

有害鳥獣対策事業

予算額 83,312千円
(前年度予算額 86,845千円)

有害鳥獣の適正な防除

80,710千円

農林水産業へ被害を与える、有害鳥獣の適正な防除を目的とし様々な取組を支援します。

【事業内容】

新 ●全国的に有害鳥獣による被害が相次いでいることから、緊急銃猟に係る経費を計上(543千円)

・報奨金、委託料(射撃講習会等所要経費)、現場必要資材等消耗品

●有害鳥獣捕獲報償金(43,000千円)

有害鳥獣による農林作物の被害を防止し、農林業の振興を図るため、有害鳥獣の捕獲活動に対し、報償金を交付

●シカ捕獲強化事業奨励金(1,600千円)

農林業被害の深刻なニホンジカの個体数を削減するため、狩猟者等に対して捕獲頭数に応じて支給する報奨金

●有害鳥獣捕獲委託料(3,322千円)

農林水産業に被害を与えるイノシシやシカ等の捕獲を、猟友会に委託

●有害鳥獣捕獲個体処理委託料(17,000千円)

捕獲(駆除)した鳥獣のの廃棄・処理を、民間業者の減容化施設において外部委託

●有害鳥獣被害防止施設資材費(2,044千円)

イノシシやシカなどによる農作物被害を防ぐため、防護柵を設置する際に必要な材料の購入費用

●町設置捕獲檻購入費(308千円)

●有害鳥獣被害防止施設設置事業補助金(12,536千円)

サル・シカ・イノシシ等による被害. に効果的な防護柵の整備を支援

<補助率:農家組合6割、個人等設置3割>

農林振興課 0771-82-3808

林業振興対策事業

予算額 35,175千円
(前年度予算額 14,146千円)

新

里山林整備事業(仮称)

4,643千円

放置され荒廃した森林における災害防止を目的に、地域住民等が下刈りや間伐などの里山林保全活動に取り組めるよう事前に行う基盤整備に対する支援

<目的>

土砂崩れや、倒木などを未然に防止し、災害に強い山へ再生を図ります

<対象事業>

防災対策としての竹林・里山林の整備、その他風倒木処理や森林の災害防止を目的とした事業

<補助率>

●定額(上限50万円)

新

森づくり応援事業(仮称)

6,210千円

皆伐・再造林による森林資源の循環利用で森林整備が確実に推進されるよう、再造林経費の他、下刈り、植栽木の鳥獣被害防止施設の設置、枝打ち、除伐、保育間伐に要する経費への支援

<補助率>

●植栽、防護柵、下刈り・・・経費の100分の25以内

●雪起こし、除伐、枝打ち、保育間伐・・・経費の100分の40以内

教育と子育てのまちづくり

京丹波町の子どもたちが健やかに成長できるよう、
「まちづくりは人づくり、人づくりはまちづくり」を基本理念に、
教育への積極的な投資を行い、「京丹波町の良さを生かした、
京丹波町ならではの教育の推進」に取り組みます。

学校教育情報化機器整備事業

予算額153,565千円
(前年度予算額 70,576千円)

GIGA スクール構想 1人1台端末更新

96,104千円

令和2年度に「1人1台端末」を集中的に整備し、GIGAスクール構想を推進しています。
令和8年度は、GIGAスクール構想第2期に基づき、1人1台端末機器の更新を行い、個別最適な学びの充実に向けたICT教育環境の整備・充実を図ります。

【概要】

- 対象：町内小中学校8校
- 整備内容：タブレット端末770台の更新
- 更新時期：令和8年夏頃を予定





学校教育生成AI活用のあり方に関する調査研究事業

予算額 100千円

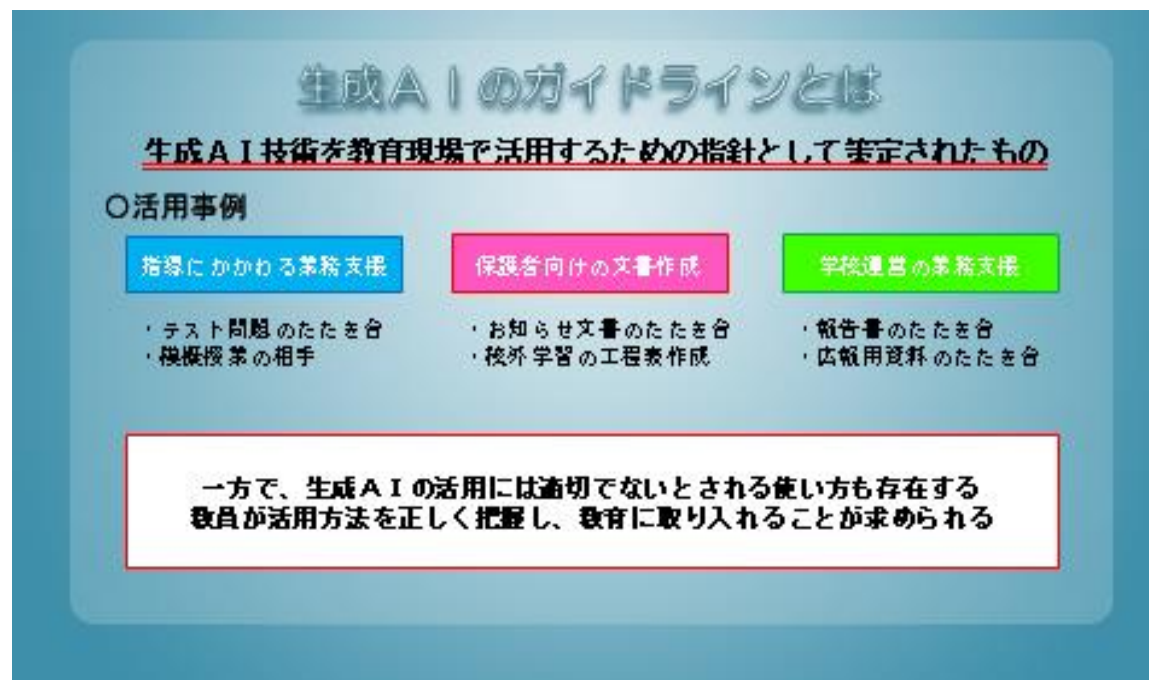
町立小中学校における生成AIの活用促進

100千円

国や京都府が示すガイドラインを踏まえ、個別最適な学びと協働的な学びの高度化を実現するとともに、教員の働き方改革と校務の効率化を図るため、町立小中学校における生成AIの活用に向けて調査研究を行います。

【計画】

- 専門家を招いての調査研究
- 先進校への視察研修



生成AIのガイドラインとは

生成AI技術を教育現場で活用するための指針として策定されたもの

○活用事例

指導にかかわる業務支援	保護者向けの文書作成	学校運営の業務支援
・テスト問題のたたき合 ・模擬授業の相手	・お知らせ文書のたたき合 ・校外学習の工程表作成	・報告書のたたき合 ・広報用資料のたたき合

一方で、生成AIの活用には適切でないと言われる使い方も存在する
教員が活用方法を正しく把握し、教育に取り入れることが求められる

人材育成による持続可能な町づくり事業

予算額 18,355千円
(前年度予算額 17,351千円)

須知高校を中心とした町の将来の担い手育成

18,355千円

須知高校の教育の振興・魅力化を図り、町の将来の担い手を育成します。

【主な内容】

- 新** ●須知高校魅力化ビジョン推進費(9,099千円)
 - ・魅力化コーディネーター(地域おこし協力隊)の育成
 - ・留学制度の推進
 - ・教育の魅力化コンサルティング経費
- 新** ●学寮の設置費(6,756千円)
 - ・家賃、ハウスマスターの配置等、光熱水費 等
- 拡** ●須知高校教育振興対策交付金(2,500千円)
 - ・須知高校が行う教育等の活性化に向けた取組を支援
 - ・魅力化コーディネータ(地域おこし協力隊)の活動費等



母子保健事業

予算額 8,219千円
(前年度予算額 7,790千円)

新

母子手帳アプリ導入経費

594千円

妊産婦と子どもの健康管理において、電子版母子手帳アプリを導入し子育て家庭の利便性向上や不安軽減を図ります。

【概要】

妊娠届時に発行する母子手帳に加えて、自身のスマートフォン等で電子版母子手帳アプリが使用できる環境を整えます。

- 子どもの様子を記録・閲覧し家族間で連携共有することが出来る。
- 予防接種の予定や健診結果の管理、地域の情報配信などスマートフォン等でサポートを受けられる。
- 災害時、救急時に母子手帳の情報を医療機関が閲覧でき、里帰り等自治体間の移動時にも情報の共有ができる。



学校適応支援推進事業

新

不登校支援事業「社会性を高めるグループ指導」

2,268千円

京丹波町内の小・中学校に在籍し、不登校または不登校傾向にある児童生徒を対象に、少人数でのグループ活動を通して社会性の育成、自己理解・他者理解の促進、コミュニケーション能力の向上を図ります。また、安心できる関わりの体験を重ねることで自己肯定感を回復し、集団への参加意欲や社会生活への適応を促します。

- 対象：町内在籍の不登校または不登校傾向にある小・中学生
- 内容：(1)グループ活動：社会性を育てるゲーム・ワーク、体験的活動、話し合い活動、感情調整や自己表現を扱うプログラム
(2)町内企業・事業所等の見学・体験活動：工場、店舗、公共施設などでの体験学習
(3)事前面談・事後フォロー：本人・保護者との事前面談、活動後のフォローアップ
(4)在籍校との連携：関係職員と情報共有し、学校での支援につなげる。
- 体制：通級指導担当教員を中心に、スクールカウンセラー、養護教諭、教育支援センター等、必要に応じて協力体制を整える。

学校給食事業

予算額105,682千円
(前年度予算額 99,617千円)

「安心安全な学校給食」地元産食材の活用促進

55,000千円

安心安全な給食はもとより、地域食材の活用、学びにつながる給食、友好町等との食の相互交流、地元企業との連携により、地域で育まれる「食」の魅力を感じ、食文化の理解を深め、食に対する感謝の気持ちを育てる「食のまち京丹波」における特色ある学校給食の充実を図ります。

- 令和7年産新米から町内産の特別栽培米(化学肥料、化学合成農薬を慣行の50%削減したコメ)を使った米飯給食を提供
- 町内の特別栽培米の生産者と小学校との食に関する体験学習の実施
- 食を通じた地域、須知高校食品科学科、石井食品(株)京丹波工場、十文字学園女子大学との交流・連携によるメニュー開発を実施



学校給食地元企業コラボ開発メニュー第3弾 【石井食品】

京丹波町20周年記念
「味夢くんランチ」

- 牛乳
- ごはん(特別栽培米コシヒカリ)
- まめたんバーグ
- ほうれん草とキャベツのおかか和え
- はたけしめじと油揚げのみそ汁
- いがぼうず(和菓子)



地域スポーツ振興事業

予算額 2,161千円
(前年度予算額 1,621千円)

新

スポーツ全国大会等出場激励金

100千円

スポーツ活動において優秀な成績を収め、全国大会や国際大会等に出場する京丹波町に居住する選手及び団体に対して交付する激励金制度を新設します。

・交付対象大会(予選会等において選出を得て出場する次のいずれかに該当するスポーツ大会等)

- (1)公益財団法人日本スポーツ協会又は日本スポーツ協会に加盟する団体が主催するもの
- (2)公益財団法人日本パラスポーツ協会又は日本パラスポーツ協会に加盟する団体が主催するもの
- (3)国が主催するもの
- (4)国際競技団体が主催する大会であって、日本スポーツ協会又は日本パラスポーツ協会による日本代表選手として選考を受け出場するもの
- (5)その他町長が特に必要と認めるもの

・激励金の額

個人	全国大会	10,000円以内	団体	全国大会	30,000円以内
	国際大会	50,000円以内		国際大会	20,000円以内



こども園運営事業

予算額 16,924千円
(前年度予算額 27,500千円)

新

こども誰でも通園制度

こども誰でも通園制度は、全てのこどもの育ちを応援し、こどもの良質な成育環境を整備するとともに、全ての子育て家庭に対して保護者の多様な働き方やライフスタイルにかかわらない形での支援を強化するため創設された新たな通園制度です。

こども **誰**でも
通園制度

- ・対象者 町内の認定こども園等に通っていない0歳10か月～満3歳未満の児童
- ・実施場所 町内の認定こども園
- ・利用方法 月10時間の枠内で、時間単位で柔軟に利用可能

保育インターン

大学生等の学生の皆さんに就業体験の機会を持ち、現場や働くことを理解し、自分の学業生活や将来のキャリアプランに役立てて欲しいという目的で保育インターンを実施します。

保育インターンでは、実際にこども園で就職前に働く体験を得ることで、職業観の形成、キャリアプランの形成、就職先の選択などに活かす事ができます。

保育インターンの期間は最大30日間を限度とし、京丹波町職員(会計年度任用職員)として働いていただきます。

すこやか子育て支援金事業

予算額10,600千円
(前年度予算額11,200千円)

すこやか子育て支援金

10,600千円

京丹波町の次代を担う児童又は生徒の入学等の節目を祝福し、すこやかな成長を長期にわたり切れ目なく支援するため、支援金を支給します。

【対象】

- ・小学校又は中学校に1年生として入学する児童等の養育者で、その年の入学式の日において京丹波町に住所を有する方
- ・中学校を卒業する生徒の養育者で、その年の卒業式の日において京丹波町に住所を有する方

小学校
ご入学
5万円支給

中学校
ご入学
5万円支給

中学校
ご卒業
5万円支給

社寺等文化資料保全補助事業

予算額 5,600千円
(前年度予算額 6,351千円)

文化財保存に対する補助金

5,600千円

文化資料保存施設や設備、美術工芸品や建造物等の文化資料の補修、民俗文化資料や遺跡名勝天然記念物の保全等を行います。

【計画】

- 設備の整備1点、美術工芸品2点、無形民俗文化財資料の保全1点、建造物1点の合計5点に対する補助を予定
- 国重要文化財である渡邊家住宅の茅葺屋根葺き替え工事
令和7年度、8年度の2カ年をかけ、国の補助金も活用しながら葺き替えを行います。(2年目)



渡邊家住宅

「地域の宝」(人材・文化財等)調査活用推進事業

予算額 1,399千円
(前年度予算額 1,772千円)

地域学芸員講座の実施

355千円

京丹波町の文化財を活用し、歴史研究家や大学教授などの講師陣を招き、充実した講義とフィールドワークを行います。

令和8年度は、「下山(しもやま)」地域をテーマに、下山に関する歴史や国指定の重要文化財、天然記念物等多岐にわたって紐解いていき、歴史や文化財等を深く知るとともに地域(人)をつないでいきます。

令和7年度は「和知」地域をテーマに実施



旧高屋川橋梁



大福光寺 本堂

人のふれあいを感じるまちづくり

京丹波町の魅力を広めるため、タウンプロモーションキーワード「GO GREEN GREEN」を掛け声に、町内外に情報発信を行い、つながりの輪を広げます。

京丹波ファンクラブ事業

予算額 13,908千円
(前年度予算額 5,077千円)

京丹波ファンクラブ「クラブ京丹波」の運営

11,820千円

京丹波町との「つながり」を作る母体として京丹波ファンクラブ「クラブ京丹波」を運営。関係人口の創出を図ります。

【取組内容】

- ・ファンクラブ会員の皆様と町を楽しむプロジェクトや、ともにまちづくりを行うプロジェクトを運営しながらファンの拡大、担い手作りに取り組みます。
- ・また、京丹波ファンクラブアンバサダー制度(CLUB京丹波有料会員)の導入に向けて、その仕組みの構築運用業務を実施します。

外 ↔ 外



CLUB 京丹波

京丹波ファンクラブ事業について

京丹波町の魅力ある情報を発信し、「京丹波のファン」と末長く交流の持てる関係を構築しつつ、京丹波町の魅力を多方面に発信してもらうための母体としてファンクラブを創設。

将来的には京丹波町が展開する各種事業の参加状況等を見える化することで、関係人口濃度の計測や参加傾向の分析、関心を認めるものへの参加に至っていない事業への参加促進を促すなど、「関係人口プラットフォーム」として機能させることを目指す。

京丹波町はまちの枠を超え、
「想いでつながるコミュニティ」へ



京丹波ファンクラブ CLUB京丹波

オリジナル会員証を選べる！
つくれる！

会員受付開始!

申請フォームはこちらから!

デマンド交通推進事業

予算額26,485千円
(前年度予算額8,760千円)

デマンド交通推進事業費補助金

26,485千円

地域交通の利便性を向上し、地域全体の活性化を図るため、新たな交通手段の運行を支援します。

【主な補助制度】

●交通空白地有償運送者支援補助金

地域住民の交通手段として京丹波町交通空白地有償運送を実施する者に対して、運行に係る経費を支援します。

<補助率>10/10

<対象経費>人件費、燃料費、車両保険料、システム等利用料 等



想いでつながるコミュニティ推進事業

予算額 6,230千円
(前年度予算額 1,950千円)

企画運営委託料

5,140千円

観光誘客だけでなく、将来的に京丹波町と繋がる関係人口・交流人口を創出する取組を実施することで、まちの枠を超えた「想いでつながるコミュニティ」を体現する事業を実施します。

【取組内容】

- ・地域課題解決型教育プログラムによる大学生などの受け入れや、海外からの学生との協業など、グローバルな関係人口の創出を図ります。
- ・関係人口が滞在、交流する拠点を整備するにあたり、関係人口自らが構想、設計するプログラムを展開します。



鐘乳洞公園管理運営事業

予算額 15,949千円
(前年度予算額 11,659千円)

質志鐘乳洞公園の管理運営

15,949千円

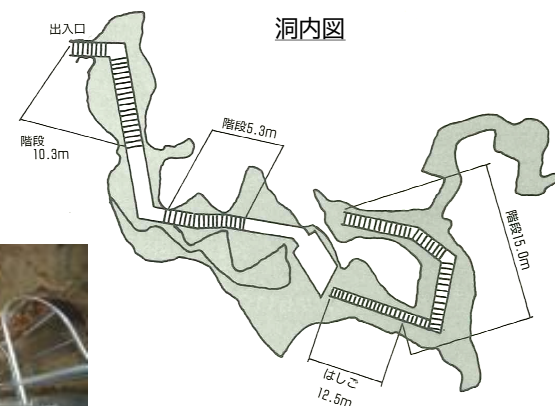
京都府内唯一の鍾乳洞である質志鐘乳洞を中心とした、質志鐘乳洞公園の管理運営を行います。
令和8年度は、公園開設時から設置している合併浄化槽改修に向けた設計業務を実施します。

【施設概要】

京都府指定天然記念物(平成16年3月19日指定)。平成5年に「京都の自然200選(地形・地質部門)」にも選ばれた質志鐘乳洞は、総延長52.5メートル、最深部まで高低差25.1メートルの全国でも珍しい、気軽に入洞できる竪穴型鍾乳洞。洞内は年中12℃～15℃程度で、盛夏時には天然のクールスポットとなる。令和7年度来場者見込17,200人。平成5年8月1日に「自然の素晴らしさを体いっぱいを感じながら楽しめる公園」として質志鐘乳洞公園を開園。
公園内にはキャンプ場等も備えている。

合併浄化槽改修

令和8年度 合併浄化槽改修工事設計 事業費3,670千円
令和9年度(予定) 合併浄化槽改修工事



消防施設整備事業

予算額 32,913千円
(前年度予算額 5,335千円)



消防施設整備工事

32,010千円

消防施設（消防詰所）を整備することで、災害発生時や火災時における消防団による迅速な初動対応を可能とし、地域と一体となった消防防災活動の充実・強化につなげ、地域住民の安全・安心の向上を図ります。



更新予定消防詰所

移動系防災行政無線維持管理事業

予算額 11,837千円
(前年度予算額8,241千円)



移動系防災行政無線の更新

3,646千円

新たな移動系防災行政無線の更新整備を行うことで、防災基盤体制を強化し、地域の安全確保につなげます。令和8年度は、基本的な構成、機能及び運用方針を定めることを目的に基本設計業務を実施します。

【現状】

現在の移動系防災行政無線は平成27年度に運用を開始し、整備後10年が経過する中、機器部品の製造中止等により維持管理が困難な状況にあります。

【整備計画】

令和8年度	基本設計
令和9年度	実施設計
令和10年度	更新整備工事



保健衛生一般経費

予算額 116,341千円
(前年度予算額 205,149千円)

船井郡衛生管理組合分担金(新火葬場整備)

96,775千円

【施設の現状】

火葬場は南丹市及び京丹波町で構成する船井郡衛生管理組合により運営されており、昭和45年4月の竣工から55年が経過し、老朽化が顕著であり、早急な建て替えが急務となっています。

【整備計画】

新火葬場施設は2階建て炉を4基と小規模な葬儀スペースを設ける計画で、令和8年度は、新火葬場敷地の造成工事が計画されており、令和11年度の供用開始を予定しています。



from京丹波推進事業

予算額 7,910千円
(前年度予算額 8,347千円)

プロモーション業務委託料

3,322千円

京丹波で生まれる「ヒト・モノ・コト」を一元化してブランディングし、域外へPR発信することで、本町のブランドイメージを向上させる。

【取組内容】

- ・FROM京丹波商材のポップアップを、町内道の駅等で展開し、特産品の売単価の上昇や、流通等の拡大を目指します。
- ・東京や京都など都市部において、京丹波産食材を使用した飲食イベント「京丹波バル」を開催しプロモーションを展開します。



FROM 京丹波 京丹波ブランド事業について

京丹波から発信されたモノ、コトを一つのブランドに集約していくことで、京丹波のイメージ醸成を行っていく運動体。

モノ —— 生産物、加工品、プロダクト、原材料

コト —— 催事、イベント、行事、芸能



京丹波の特産物や加工品にこのラベルを付与し、流通させることにより、「京丹波」の名前を広く一般にも浸透させる。



波線は手書きで誰もが描くことができるので、無人販売所や、町内外で個人がサービス展開しているものも「波」京丹波ブランドとして使用できる。



みんなのまち拠点プロジェクト事業

予算額 9,739千円
(前年度予算額 9,445千円)

公共施設移転基本構想策定業務

9,614千円

町内の複合商業施設に、公共機能の一部（図書館機能・木育広場等）を移転することを検討することで、過剰な設備投資を抑制し、さらに、地域活性化や住民の利便性が向上するとともに、施設自体の活気を生み経営効果に資するもの。

【取組内容】

- ・国内の類似施設をリサーチし、先進地視察を実施します。
- ・町内の意見や思いを聴取し、その構想を具現化するため「複合商業施設内への一部公共機能移転基本構想策定業務」を策定します。



特産館和管理運営事業

予算額 43,924千円
(前年度予算額 25,425千円)

維持補修工事

27,390千円

令和8年度から、「一般財団法人和知ふるさと振興センター」が、外部人材の登用など新たな体制を構築し、道の駅和（なごみ）特産館の指定管理者として10年間の運営をスタートし、安定経営を維持するためのロードマップを策定しながら運営をおこなう。

【取組内容】

・オープンから25年余りが経過する特産館であり、屋根防水改修工事及び外壁補修工事を実施して、施設の維持管理を行います。



道の駅京丹波味夢の里管理運営事業

予算額 43,049千円
(前年度予算額 41,864千円)

測量設計監理業務・維持補修工事

33,760千円

道の駅「京丹波味夢の里」は、年間300万人が訪れる道の駅であり、地域産業の核として機能を発揮しています。そのため、指定管理者による施設の維持管理運営業務を行うことにより、来館者の安全安心を確保するとともに、京丹波町をはじめ京都府域や近畿圏内の様々な観光情報を発信し、又様々な商品を販売することで、京丹波地域の発展と活性化を目指します。

【取組内容】

- ・施設の安全確保のため、敷地盛土の沈下状況をモニタリングするための測量業務を実施します。
- ・開業から10年が経過しており、館内電動シャッターの更新、館内電話設備の更新及び館内空調設備の一部更新工事を実施して安全で効率的な運営を担保します。



都市緑化フェア推進事業

予算額 26,910千円
(前年度予算額 25,183千円)

都市緑化フェア実行委員会負担金

19,695千円

「第43回全国都市緑化フェアin京都丹波」の開催を控え、都市緑化フェア実行委員会へ負担金を支出し、フェア全般における企画・運営を支援します。

【概要】

開催期間 令和8年9月18日から11月8日まで

京丹波町コア拠点 わち山野草の森、京都府立丹波自然運動公園

ホームページ <https://kyototamba-fair.jp/>



新

PRイベント開催経費

1,044千円

フェアのPRと共に京丹波町の魅力を町内外に発信するために、PRイベントの実施を計画しています。

なお、イベントの内容や開催時期は決まりましたら改めてお知らせします。

町営住宅維持管理事業

予算額 153,214千円
(前年度予算額 21,520千円)

公営住宅長寿命化

133,971千円

町内に存する公営住宅(16団地144戸)の維持管理を行います。

また、令和6年度に改定した「京丹波町公営住宅等長寿命化計画」に基づき予防的な維持管理、長寿命化対策に取り組めます。

【事業内容】

新 質美住宅、本庄木上住宅の長寿命化工事

町営住宅長寿命化工事 123,673千円

工事施工監理業務 10,298千円



わかりやすい**情報発信**による 行政の**見える化**のまちづくり

町政や地域情報をわかりやすく発信し、行政の見える化の環境を整えます。

また、あらゆる分野でデジタル化による情報発信に取り組みます。

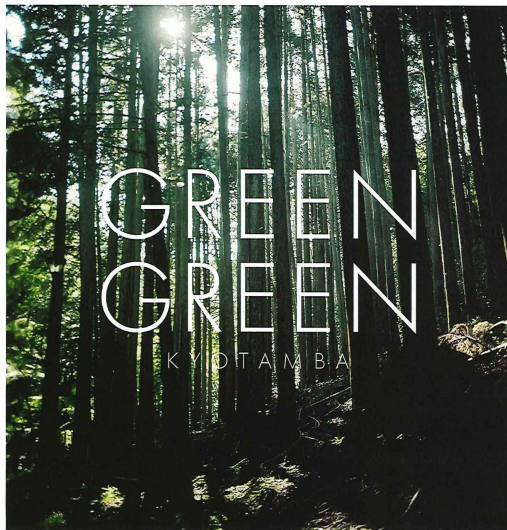
プロモーション戦略推進事業

予算額 12,176千円
(前年度予算額 17,428千円)

タウンプロモーションの推進

6,376千円

京丹波町のタウンプロモーション戦略に基づく、各種KPI(移住者増、観光客増、ふるさと納税増)に向けた実証的な取組やマーケティングを展開します。民間ライターを募集する、「京丹波編集部」の運営や、町のオウンドメディアの運営、クリスマスマーケット企画運営、フォトウォークイベントの開催、SNSの運営などを実施します。



なぜGREEN GREENなのか？

京丹波の雄大な自然からインスピレーションを得た

GREEN

=自然、健康、成長、
新鮮さ、前向きな姿勢

GREEN GREEN

GREENの意味を強調し、
様々なGREENが存在する多様性と、
こだまのように共鳴していくことを表現。

官民連携組織 Kyotamba Innovation Labの設立



観光振興の観点から民間企業を招き、中核組織としてプロモーションを推進するにあたり、
その礎となる組織を設立。京丹波町に在る民間企業と連携し、町民の生活、マウン
ツプロモーションを牽引していくことを目指し、官民連携組織の設立、サ
ポート体制の整備が完了。また、町のワークキャンプを推進した。

町内/町外アンケートの実施



町民・企業社員の協力を得て、広く利用するイメージを構築するべくアンケート
を実施。今年度は町民を対象に、町民に対するアンケートの実施が最も
多くなっている。アンケートの結果として町民の意見や要望の調
査も進められている。

自主放送施設管理事業

予算額 43,949千円
(前年度予算額 25,630千円)



自主放送番組を活用した行政情報発信機能の構築

18,546千円

町では現在、お知らせ文書等を各戸に紙で配布していますが、自主放送番組に行政情報の発信機能を追加し、配布の負担軽減と情報の共有化を進めます。

【構築概要】

お知らせ文書等を、AIにより記事や音声を自動生成し、自主放送番組内で文字放送とデータ放送(dボタン)により配信する機能(回覧板機能)を新たに構築します。



回覧板機能のイメージ

